

麻しん・風しん診断時の対応フロー

麻しん・風しんの確定診断には、発生届と PCR 検査が重要です。

麻しん・風しん患者が発生した際、まん延を防止するために迅速な対応が重要です。ご協力をお願いいたします。(疑う事例があった際は、診察の内容とともに、一報をお願いいたします。)

医療機関へ患者が受診 ※疑った際は、必ず渡航歴、接触歴、予防接種歴をご確認ください。

診察当日に実施

麻しん・風しんと診断 ※医療機関では個室対応をお願いします。

直ちに保健所疾病対策課(直通 042-769-7201)へ電話連絡
(土、日曜日、祝日は、市役所代表(042-754-1111)へ)

◆下記項目について併せてご報告ください。

- 診断名 患者氏名 年齢 性別 住所 連絡先 所属先
- 症状及び経過 渡航歴 麻しん・風しん患者との接触歴
- 予防接種歴 既往歴
- 検査実施状況(IgM 抗体価等) **必ず IgM 抗体検査を実施し、結果を後日報告してください。**

直ちに「麻しん発生届・患者情報連絡票」「風しん発生届・患者情報連絡票」を
疾病対策課へ FAX **FAX 番号:042-750-3066** ※個人情報は消してください。

PCR 検査用の検体を採取

発疹出現日を0日として第5病日以内が望ましい。

※冷蔵(4℃)で保存

①咽頭ぬぐい液1本

ウイルス専用培地のスピッツを使用。なければ、滅菌スピッツに拭ったスワブを入れる。

②血液(全血)5ml程度

EDTA入り採血管(一般に薄紫キャップ)に採取 ※ヘパリン加凝固防止剤入り採血管(一般に黄緑キャップ)は不可

③尿10ml程度

滅菌容器(スピッツなど)に採尿

医療機関から患者(保護者)へ説明

- ①感染症法に基づいて、保健所へ発生届を提出する。
- ②確定診断のために、PCR検査が必要なので、検体を採取する。
- ③発生届に基づき、保健所が患者や所属先の調査を行う。
- ④感染可能期間は外出等の自粛を依頼する。

ここまで

疾病対策課への検体の提出 ※回収日時は、疾病対策課連絡時に調整

※結果判明までの時間を確認、共有します。

市衛生研究所で PCR 検査実施 ・ 結果判明

疾病対策課から医療機関へ結果報告

陽性

患者へ結果説明・疾病対策課の調査へ協力

陰性

患者へ結果説明・発生届の取り下げ(電話で確認)